



住民セミナー 『放射線と健康』を開催しました



プログラム

開催日：平成30年5月 双葉郡の中学校

14:35～15:15 講演『放射線と健康』

講師：坪倉 正治 先生（相馬中央病院副院長）

15:15～15:25 質疑応答・アンケート記入

15:25 閉会



講演内容

○放射線とは？

- ・人工と自然の放射性物質による影響の差は無い。

○身近にある放射線

- ・宇宙、大地、空気、食べ物など身の回りに放射線がある。
- ・日本各地、世界各地の自然放射線による年間被ばく量に地域差がある。

○被ばくの影響はその量の問題

- ・内部被ばく検査、外部被ばく線量測定により放射線を浴びる量を確認している。



被ばく量とその影響

【多量の放射線を一気に受けた場合の人体への影響】 放射線被ばくを受けた量(シーベルトSv)

500-	3,000-	2,500-	5,000-	10,000-
2,000-	10,000-	6,000-	10,000-	10,000-
水晶体に被ばく 失明の危険	皮膚に被ばく 脱毛	造血臓器に被ばく 造血不全	造血臓器に被ばく 造血不全	造血臓器に被ばく 造血不全
100-200-400-1,000-	2,000-	3,000-	4,000-	5,000-
100-	500-	1,000-	3,000-	7,000-
全身被ばく	この半分の線量では 急性症状が 確認されていません	赤血球中の リンパ球の減少 (10%の人)	赤血球中の リンパ球の減少 (50%の人が死亡)	赤血球中の リンパ球の減少 (100%の人が死亡)

※群馬県放射線対策推進課(TEL:140)作成
平成30年2月

アンケートから

○わかったこと・参考になったこと

- ・放射線は放射性物質が出していることが分かった。
- ・ミリ、マイクロについて知ることができて良かった。
- ・放射線は放射性物質から出ている、食べ物や土の中にもあってそこから出ていることを初めて知った。

○受けた理由は何か？

- ・日常を過ごす中で参考になるため。
- ・放射線について正しい知識を知って、知らない方に教えられるようにするため
- ・自分たちが知っておかなくてはならないものだったため。



放射線は身近にあるということがわかりました。
今後の生活に生かしたいです。